

JAMES HARKIN

▪ Director of Flockwatching

LONDON
SPEAKER
BUREAU



Topics

- Entrepreneurship
- Future
- Politics
- Society
- Technology

James Harkinは、新しいアイデアや新しい社会的、政治的、技術的傾向、そしてそれらが企業、政府、機関にとってどのような意味を持つのかを分析し予測するアナリストです。彼はFlockwatchingのディレクターであり、ブログ、ソーシャルネットワーク、インターネットに関する情報を利用して、社会の変化、ニューメディア、消費者の動向を大量に観察する傾向を理解しています。

1999年から2004年までJamesシンクタンクおよび代理店のニューヨーク、ロンドン、そしてヨーロッパ大陸で「未来学者」としてフルタイムで働いていました。彼はロンドンのシンクタンクDemosの仲間として社会的および技術的傾向の変化に関するプロジェクトを管理し、そして動員を含むいくつかのDemosパンフレットを書きました。もう一度。

彼はFinancial Timesを含むいくつかの新聞や雑誌に定期的に書いています。彼は定期的にBBC、CNN、チャンネル4、SkyとAl Jazeeraに社会と技術の動向について話し、オックスフォード大学で政治経済と社会理論、そしてロンドンスクールオブエコノミクスでインターネットの影響について講義しました。JamesはまたAl-Jazeeraテレビのための2大陸でのライブスタジオでの討論を司会しました。

彼の最新の本、「ニッチ：市場がもはや主流にならない理由」は、文化、政治、社会の形の変化について書かれており、社会意識を高めるために著者協会からK Blundell賞を受賞しました。彼の他の本は「大きい考え：最新思考への必要なガイド」および「Cyburbia：いかに割れ目、発明家および先見の明がオンラインで私達の新しい生命を作成したか」を含んでいる。

ジェームズは、ゲーム理論についてのBBCの3部構成のアイデア主導のシリーズの副プロデューサー「The Trap：自由の私達の夢に何が起こったのか？彼はまた、サイバネティックス、エコロジー、文化の関係を見て、2011年にBBCテレビで放映されたBBCの3部作シリーズ「愛情の恩恵の機械」によってアソシエートプロデューサーを務めました。

彼は最近、経済学者の年次「ビッグ再考」会議とリス・マードックのテレビ制作会社シャインの年次会議の両方について、戦略、芸術および制度の変化について基調講演を行った。

2011年11月に、状況が悪化したのでジェームズはシリアのホムス市にそれを作るために非常に少数の国際的なジャーナリストの一人でした。Homs and Damascusからの彼のレポートは、Newsweek Magazineのカバーストーリーでした。彼のレポートはBBC、CNN、NPR、そしてヨーロッパとアメリカの新聞にも掲載されました。2012年2月下旬に彼は覆面ジャーナリストとしてダマスカス、ドゥマ、ヘラスタとホムスを訪問し、シリアに戻った。彼はそれをアメリカのニューリパブリックのための長いカバーストーリー（「失速革命」）、アトランティックマガジンのディスパッチ、そしてニューヨークタイムズからのコミッション、そして外交政策のためのコメント記事で書いた。

Jamesは、シリア紛争に関するプロジェクトのために、2013/2014年度のオックスフォード大学のReutersInstituteで客員研究員として選出されました。また、

2013/2014年度のオックスフォード大学のSt. Anthony's Collegeのシニアアソシエイトメンバーシップにも参加しました。

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988